

『時事直言』 No.682 2011年10月28日

時事直言ホームページ：<http://chokuguen.com>

時事直言 携帯サイト：<http://mobile.chokuguen.com>

FAX：03-3955-6466



時事評論家 増田俊男

ユーロ圏財政問題の解決など無い！

目先のギリシャ国債デフォルト（支払い不能）危機は確かに消えた。

欧州時間 27 日（木）ヨーロッパ首脳会議が終わり、ギリシャを筆頭に世界の金融市場を揺さぶってきた欧州財政問題に一応の終止符が打たれたということで世界中の株式市場は大幅な上げとなった。

フランスのサルコジ大統領の言葉ではないが、その「大胆なるプラン」とは欧州銀行に保有するギリシャ国債を 50%カット（損切り）させ、かつ自己資金を 106 billion ユーロ（約 11.3 兆円）増額させることであった。これでとりあえずギリシャの国債不払いの心配はなくなったとされているが、50%のカットで今後ギリシャにデフォルト危機は起きないのかは不明。さらに銀行向け損切り補てんとしての公的資金投入と今後のイタリア、ポーランド、スペインなど大国の財政悪化に備えて欧州金融安定ファシリティ（EFSF）の安定化資金を 1 trillion ユーロ（約 107 兆円）に増額することになった。具体的には 11 月 7-8 日の G20 までに域内財務担当者間で詰めることになっている。

EU の Sovereign Crisis (国債デフォルト危機) は解決しない！

今回の欧州首脳会議は目先に迫ったギリシャの国債デフォルト危機回避のためとイタリア等大国の財政危機再燃に備えただけで肝心の何故ギリシャ、アイルランド、イタリア、ポーランド、スペインが財政危機に陥り、何故ドイツは問題が無いのかというユーロ通貨体制そのものについて全く言及されていない。

ユーロ体制の問題点を追及するどころか体制維持に徹した感がある。

ドイツの財政状態が良く、逆に他のユーロ圏諸国が悪いのはドイツの経済競争力が他国より優れているからである。ドイツと他国の競争力の差が拡大する最大の理由はドイツと他国の通貨が共通だからである。優れた生産性とイノベーション力を持つドイツと非効率な経済構造の他国が共通の市場で競争出来る筈がないのである。ユーロ共同市場が出来た 1999 年以来、漁夫の利を得続けてきたドイツと犠牲を被り続けてきた他国の差が限界に達した結果がギリシャ、その他の国債デフォルト化現象である。今回目先の欧州財政危機を回避するにあたってドイツの責任と負担が増大した。今後ユーロ共同市場を維持すれば漁夫の利より犠牲が増すので、今後間違いなく再燃する次期欧州財政危機に際してドイツは国民の不支持を理由にこれ以上の犠牲は払わなくなるだろう。「用が無くなったら捨てる」のがドイツの国益だからだ。

これからは「ユーロ体制は無いもの」と考えた方がいいだろう。

大好評配信中！増田俊男の「ここ一番！」

「ここ一番！」はここ一番のタイミングにアドバイスをお送りする増田俊男のニュース・レター。「投資家の友」として親しまれています。「危ないところを救ってくれてありがとう」、「儲かってます！」などなど好評です。読者の特権としてご質問に増田が即答します。

お問合せは、(株)増田俊男事務所 TEL:03-3955-6686 まで

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前に株式会社増田俊男事務所（TEL03-3955-6686）までお知らせ下さい。